

メロン経営体の収益性向上に向けた取組

県央農林事務所経営・普及部門

茨城町はメロンの生産が盛んで、県内有数の産地となっています。普及センターでは、いばらきメロン品評会「King & Queen コンテスト 2025」への出品を通じたブランド力の向上、春メロンにおけるハウス内環境のモニタリングの活用や抑制アールスメロンにおける夏季の高温対策として遮光・遮熱資材の比較検討による安定した生産技術の確立に取り組み、メロン経営体の収益性向上を支援しました。

県メロンコンテストでゴールドマイスター賞を受賞！

高品質なメロン生産の一環として、コンテストに毎年出品している JA 水戸茨城町メロン部会に対し、栽培期間中の巡回指導や研修会の実施など、品質向上に向け支援しました。その結果、イバラキング部門において県央地域で初となるゴールドマイスター賞を受賞し、さらに、赤肉メロン部門でも特別賞を受賞しました。贈答用などこれらのメロンの差別化販売の取組は、高級果実店等から高く評価されました。



図1 左：イバラキング部門 豊田 大介氏
右：赤肉メロン部門 福島 将也氏



図2 モニタリング機器の設置と研修会の様子

環境モニタリング機器の活用支援

春メロンにおいて、クラウド型環境モニタリング機器を活用した品質向上対策に取り組んでいます。令和7年産は実証農家1戸が、計測した温湿度等のデータを活用した栽培管理に取り組み、環境データは他の生産者にも共有しました。また、令和8年産に向けて、環境データ測定とデータ活用に向けた研修会を開催しました。その結果、令和8年産から新たに1戸が実証に取り組むことになりました。今後もデータを活用した栽培管理によるレベルアップを目指していきます。

抑制アールスメロンの夏季高温対策の検討

抑制アールスメロンでは、近年の夏季の高温による着果不良や果実内発芽の発生等が問題となっており、遮光・遮熱ネット等による昇温抑制対策に取り組みました。8月収穫の調査ハウスでは展張による温度抑制効果を確認でき、果実内発芽は1果実当たり1%以下で販売に問題のない程度に抑えられました。この結果を研修会で周知したところ、今後も部会において引き続き対策に取り組んでいくことになりました。



図3 ハウスへの遮光・遮熱ネットの展張